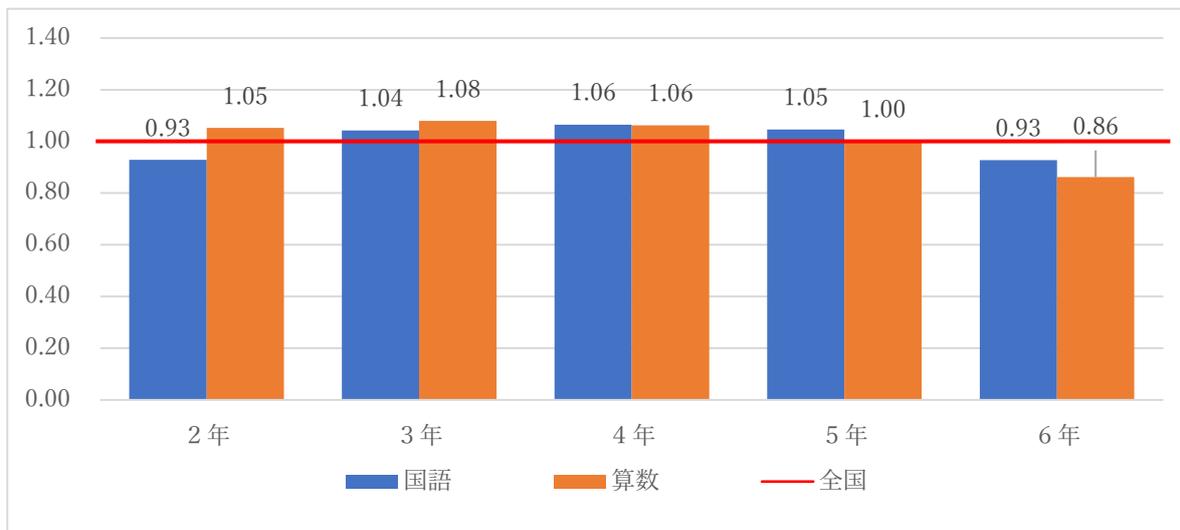


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第九中学校区 啓明小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	低学年では「話す・聞く」領域に課題が見られ、国語科だけではなく、教科横断的に取り組む必要がある。一方、中学年、高学年では「書く」領域で高い結果が見られた。引き続き、図表を読み取り説明できる力を向上させていく。
	算数	全国平均と同等、または上回る結果であった。活用問題で結果が向上しているが、高学年での伸び率には課題がある。その背景にある確実な基礎学力の向上、また問題解決学習等で思考力の強化を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「書くこと」領域の課題が大きい。また分析の結果、特に図表の情報と結びつけて文章化することが難しいことがわかる。一方、自分の考えを書くことにおいては、全国平均を大きく上回っている。他教科とも連携し、資料から読み取り説明する力へとつなげていく。
	算数	「データの活用」「図形」領域に課題が見られる。特にデータの分析においては、国語科とも関連してくると思われる。図形に関しては、再度それぞれの性質の理解を深める必要がある。
	質問紙	「学校が楽しい」という項目では80%が肯定的な回答であった。引き続き、90%を目指していく。「家庭に本がありますか」という項目では平均を大きく上回っており、今後は、読書量や読解力とつなげる取組を図っていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

話をしっかりと聞く力・自分の思いや考えを話す力を大切にして、ディベート教育、教科教育に取り組むとともに、論理的・客観的・多角的思考を培い、考える力の育成を進めている。

ねやがわスタンダードを基に、学習規律の徹底を校区教員で進め、小中9年間で児童・生徒の学習習慣の定着を図っている。また児童・生徒の主体性を伸ばすとともに、がんばっている姿・良いところを褒めて、自己肯定感を高めていく取組を進めている。

【 学 校 】

各学年分析の結果見えてきた課題を学校全体で共有し、授業内容や家庭学習に組み込んでいく。また、授業改善担当教員を中心に課題の大きい領域については、ねやがわスタンダードをもとに一層の授業改善を進める。国語「書くこと」については図表の分析と共に取り組んでいく。